

科目名	社会福祉学Ⅰ	
担当者	久永 繁夫 / HISANAGA, Shigeo	
科目情報	心理臨床<福祉臨床> / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	今日、社会福祉は国民生活に欠くことのできない施策である。社会福祉の理念と歴史や貧困・児童・老人・障害者等の対する福祉制度の概要、社会福祉を担う専門職制度、変化の激しい社会福祉の動向などについて講義する。
	到達目標	① 社会福祉の歴史等を学び、その必要性や理念を理解する。 ② 各分野の社会福祉制度を学び、その利用手続き等を理解し他人からの相談に応じることのできる基礎知識を身につける。 ③ 社会福祉の動向を知ることにより、社会の動きを深く理解することができる。
授業計画	(1) 社会福祉を学ぶ意義 (2) 社会福祉の概念、意義、目的 (3) 社会福祉の歴史（戦後日本の社会福祉の歴史） (4) 社会福祉の歴史（イギリスの社会福祉の展開） (5) 貧困問題と社会福祉①（社会保険による生活保障） (6) 貧困問題と社会福祉②（公的扶助による生活保障） (7) 児童問題と社会福祉①（子ども家庭福祉） (8) 児童問題と社会福祉②（児童福祉法・児童虐待防止法） (9) 高齢者問題社会福祉①（高齢者福祉の法律と実施体系） (10) 高齢者問題社会福祉②（介護保険制度と介護問題） (11) 障害者問題と社会福祉①（障害の概念と障害者福祉） (12) 障害者問題と社会福祉②（障害者福祉の法律と実施体系） (13) 社会福祉の仕事と専門職制度 (14) 社会福祉の動向と課題 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・使用テキストを前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・法令等は六法全書等を活用して、確認すること。 ・社会福祉制度は、毎年改正等が行われるので、新聞等に目を通すこと。
使用教材・参考文献	【教】 山形文治・岡田忠克編 「よくわかる社会福祉」 ミネルヴァ書房 2011年 第8版 【参】 F・P・バイスティク著 尾崎新・福田俊子等訳『新訳改訂版ケースワークの原則』誠信書房 1996年	
成績評価方法と基準	〈基準〉 〈方法〉試験（70点）、小テスト（30点）	
備考	社会福祉の動向を知るために新聞記事等を使用する。	